

# 藝文いちかわ

市川市芸術文化団体協議会は、市内における各種芸術文化団体相互の協力と理解を深めるとともに、市川市の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。

## ご挨拶

市川市芸術文化団体協議会名誉会長  
市川市長 大久保博



平成28年度「藝文いちかわ」が発行されますことを心からお祝い申し上げます。

能村会長をはじめ市川市芸術文化団体協議会の皆様におかれましては、昭和49年の設立以来、長きにわたり、市川市の文化芸術の振興に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協議会は、各種芸術文化団体の相互協力と理解を深めるとともに、市民が身近に芸術や文化に親しむことで心にゆとりや豊かさを得られるよう、様々な創作活動に取り組み、本市の文化芸術の中心的な役割を担われています。

今年の2月にJRR市川駅南口のザ・タワーズウエスト45階アイ・リンクタウン展望施設において行われた、貴協議会主催の第22回芸術文化集会「天空の文化祭」では、各分野における様々な展示やコンサート、民話などが披露され、多くの市民が素晴らしい眺望とともに、芸術文化を身近に感じ、大変有意義な時間を過ごされたことと存じます。

本市は、豊かな自然環境に恵まれ、多くの芸術家や文化人が在住し、古くから数々の作品の舞台となりました。このような歴史的・文化的要素を背景に多

くの市民が芸術文化活動に励まれていることが、本市の魅力でもあります。芸術文化の振興は、市民が住まうことに誇りと愛着を感じ、彩り豊かな文化と芸術を育む街づくりへと繋がります。貴協議会の皆様には、引き続き、本市の芸術文化の普及と発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

## 芸文協運動発祥の地の誇り

市川市芸術文化団体協議会  
会長 能村研三



昨年4月、五代目の芸文協の会長に就任いたしました。伝統のある芸文協がこれまでの歩んできた道のりを大切にしながら、市川市の基本目標の一つである「彩り豊かな文化と芸術を育むまち」の実現に向けて文化団体の立場から行政や各種団体と連携しながら全国に誇れる「文化芸術都市」の実現に向けて努力してまいりたいと思っております。皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

村上正治先生は芸文協運動を市川から発信し、千葉県そして全国へと普及推進された方です。平成2年に市川市文化会館で開催された全国文化集会の興

奮はまだ私の記憶に残っております。会長に就任し1年半が経とうとしておりますが、現在の芸文協および加盟団体が直面している課題が多くあります。その一つが少子高齢化の問題です。文化団体全体に言えることは高齢化により以前のような円滑な活動が維持出来ないこと、若者の参加が減少し会の存続継承に支障をきたしていることも事実であります。

しかしいつまでも繰り返言をいつているだけでは先には進みません。まず芸文協の加盟団体を増やしていきたいと思っております。以前芸文協で活動していた団体に復帰をお願いすると共に、各種ジャンルの新たな文化団体にも積極的に加盟の呼びかけを行っていきたくと考えております。また、若い世代の方々が参加しやすい環境作りにも努力していきたいと思っております。皆様と共に芸文協運動発祥の地「市川」の誇りをもって芸文協を発展させてまいります。



# 「天空の文化祭」―新たな芸文協に向かって

副会長 酒井玄枝

27年度の市川市芸術文化集会在2月8日から12日迄、アイリンクタウン45階イベントスペースで開催となりました。

ホールの中からオーブンスペースへ、5日間連日のイベント開催は何もかも初めての経験ばかりでした。文化振興課、観光交流課2つの担当部所での打ち合わせを繰り返しました。実行委員長の時田さんを中心に理事会での熱心な議論を重ね、第22回芸術文化集会として「天空の文化祭」開催を決定しました。短時間での準備は大変でしたが加盟団体全員で取り組む事業となり、素晴らしいチラシが完成してピーアールには大きな力となりました。沢山の反響も頂きました。

日替わりで作成されたイベントプログラムは充実した内容でした。出演団体の本物を直接感じていただく発表や演奏は、お客様と共に作り上げる充実の文化祭ともなりました。様々の反省点や改良すべき問題は次につなげるエネルギーとしましょう。

45階からの素晴らしい展望は、江戸川を眼下に市川市内を見渡し筑波山や富士山も見渡せる大パノラマです。「天空の文化祭」開催時で見た黄昏から夕焼けにそまる空と影絵のような富士山は美しく感動的、そして大パノラマを見渡す昼の部、夜景を背景に演奏される夜の部のコンサートはまさしく「天空の文化祭」そのものでした。1日平均約150人のお客様にご参加いただき、5日間で約1000人の来場者となりました。イベントごとにお客様は入れ替わり限



られた客席は常に満席です。プログラム毎に客席や音響の準備が必要となり、会場の係など細かな役割の分担が必要不可欠と実感、次回検討事項の一つだと思われました。

各加盟団体がお持ちの沢山の可能性と素晴らしい実力の集結は、今後の芸文活動の大きな原動力になるものと確信致しました。

近年の文化行政の厳しい状況のもと、芸文協の立ち位置はとても重要です。市内の文化団体を包括するような地域文化のリーダーとして、その役割はとても大きいと感じています。

能村会長を中心にスタートした新体制も2年目を迎えます、皆さまと共に更に大きく飛躍できる一年に致しましょう。



平成 27 年度市川市文化祭  
市川市芸術文化団体協議会

第 22 回芸術文化集會

## 天空の文化祭



市川市芸術文化団体協議会加盟団体による展示と公演

常設展 市川市花道協会 市川市手工芸連盟 市川市写真連盟 市川市俳句協会  
公演 市川文藝家協会 市川オペラ楽団 市川市合唱連盟 市川市洋舞協同会 市川民謡の会 あずき会  
(開催内容は裏面をご参照ください。)

**入場無料**

平成28年2月8日(月)~2月12日(金)

会場 ザタワーズ ウエスト45階 アイ・リンクタウン展望施設

JR 市川駅南口を出て右(東京方面)へ、ザタワーズ ウエスト3階から直達エレベーターであ上がりください。

主催：市川市芸術文化団体協議会 共催：市川市 後援：(公財)市川市文化振興財団  
お問い合わせ：芸術文化集會実行委員会(酒井) Tel.047-334-7632 Eメール: ichikyoy@plum.ocn.jp 市川市文化振興課 Tel.047-300-8020

## 市川市花道協会

理事長 倉持理純

市川市花道協会は日本の伝統文化であるいけばなを研究（又は探求）する会員が集まって昭和26年に結成されました。

70回目になるいけばな展は平成27年3月6日（金）から9日（月）まで【市川市文化会館】の地下大会議室・展示室で開催されました。

花道協会では日頃から生け花を見る事によって心の豊かさを得られるお手伝いが出来ますことを願って居ります。また生ける方々の思いも様々ですが生け花の世界を伝承できます事をうれしく思います。また「子供コーナー」も大変好評をいただいております。

その他に会員相互の親睦を図る目的で新年懇親会が平成27年2月1日（日）に山崎厚生年金会館にておこなわれました。

また年1回行っておりますバス研修旅行（波の伊八彫刻他）が4月12日に行われました。

なお定例総会は5月24日に市川市公民館にて開催されました。

会員の募集は随時おこなっております。

連絡先 〒272-0035  
住所 市川市新田 3-5-6  
市川市花道協会  
電話 047-370-3608



## 平成27年度市川市手工芸連盟の活動・ 天空の文化祭の総括について

市川市手工芸連盟 理事長 牧野ミサホ

前理事長の益子智仔先生が市川市手工芸連盟を結成されてから今年で31周年になります。当連盟の活動として、清華展や市川市手工芸公募展、談話室での会員ミニ展覧会を毎年行っています。また、学校のコミュニケーション等で色々な手工芸の素晴らしさを広める活動も行っています。こうした活動の中で私が特に印象に残っているのが、去年の公募展作品の中で賞からは外れていましたが、パッチワーク部門で「絆」という作品がありました。色のグラデーションを一針一針縫って作り、心が繋がっているように思われました。素晴らしき作品だと一人胸が熱くなる思いをしました。

又、学生さん達はデザイン、色、考え方が未来を思わせるような作品が多く、見入ってしまうほどです。

手工芸は毎日の生活の中から生まれたものと言われています。現在は大変レベルアップされ、必要な物を美しく、使いやすく工夫をしながら作られるようになりました。それは、皆様の技術、美意識、文化の向上が素晴らしく進んだからだと思います。



今年も、第26回手工芸公募展を9月14～18日まで市川市文化会館で開催します。会員一同、皆様のお越しをお待ちしております。

「天空の文化祭について」  
多分野の皆様のご協力により、素晴らしい文化集会になりましたことを感謝申し上げます。今後とも芸文協の皆様には色々な観点からご意見、ご協力頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

## 市川市洋舞踊協会

### 「創立35年」を迎えて

市川市洋舞踊協会  
会長 荒木 洋子

昭和57年に設立し、毎年協会員により合同公演を開催しています。

合同公演は、各団体の作品に加え創作合同作品を上演しております。

平成25年3月には第30回記念市川市洋舞踊合同公演として市川市交響楽団とコラボした「パリの喜び」を上演、平成26年3月公演「つるの恩返し」、平成27年3月公演「シンデレラ」、平成28年3月の公演では「ガーシュインの世界」を上演いたしました。

現在クラシックバレエ4団体、モダンバレエジャズダンス1団体、フラ1団体の6団体で運営しております。

今後も協会員で力を合わせ多くの方々に楽しんでいただけるような作品を作り上げてゆきます。

また今年2月に開催された市川市芸術文化団体協議会主催 第22回芸術文化集会「天空の文化祭」に参加して各団体の作品を鑑賞しコンサートを楽しむ大勢の方との交流で素晴らしい時を過ごすことができました。

来年2月の芸術文化集会においても協会員一同、積極的な参加を行いたいと思っております。



## 「天空の文化祭」に参加して

市川市合唱連盟

2月開催された「天空の文化祭」、市川市合唱連盟より2団体が出演致しました。

45階展望スペースで江戸川と市川の町を眼下に、展示作品を見ながら開放的な空間で開催、お客様と共に合唱を楽しみ、楽しい演奏となりました。

指揮者の先生方の協力も頂き、フランクに聞いて頂く「うたの広場」のような楽しいコンサートとなり出演者も共に楽しむことが出来ました。

今年度は、11月12日(土)・13日(日)第38回市民合唱祭、7月のジョイントコーラスin2016、12月のコルトンホールでのクリスマスコンサートなどを計画しています。特に合唱祭への小中学校合唱部の特別出演で演奏はお客様にも大好評で、私たちも大きなエネルギーを頂き、合唱を通して世代を超えた交流の良い機会となっております。

合唱連盟加盟の50団体は、団員の高齢化や練習場の確保など様々な問題のほか、合唱を楽しみ、それぞれ地域での合唱活動を通して地域における文化活動にも一役を担っています。又、平成25年より始められた葛飾区との文化交流事業も順調な展開、合唱を通し文化交流の出来ることに感謝をし、期待もしています。芸文協の加盟団体として文化集会など積極的に参加協力し、芸文協加盟の皆さまとのコラボレーションなど広く合唱活動の展開が出来たらと思えます。



## 「天空の文化祭」での語り

市川民話の会  
國分康則

市川駅南口のアイリンクタウン45階の展望施設で2月8日から12日まで「天空の文化祭」が行なわれ、市川民話の会も参加しました。

私は、9日と10日に語らせてもらいました。45階に登り、展望施設からは市川市内中が、見渡せます。南は江戸川を下っていくと行徳浦安を経て東京湾まで、北は国府台、松戸方面までが一望できます。まるで、ジオラマを置いた地図のようです。

今はビル群が眼下を覆っていますが、市川はいにしえの頃よりたくさんのお話が伝わっています。天空よりながめていきますと、真間山下では、有名な手児奈

の話、その当時は入江が真間山下までせまって来て手児奈は入江に身を沈めていったといいます。国府台方面では戦国時代と幕末に江戸川をはさんで、大きな合戦があったこと、悲惨な情景が繰り広げられていたのだろうと心が揺さぶられます。行徳方面では、きつねが登場する話がたくさんあります。人ときつねが身近に共存し、自然が生活の中にあつたことがわかります。お話の中から当時の市川の様子が浮かんできます。市役所の前の「やぶしらず」は江戸川の方までやぶがずつと広がっていて「入ったら出られなくなる」と人々がうわさしていた中からいろいろな物語がつけられていったようです。この眺めの下では人々が必死に暮らし、その中から悲しい話、おもしろい話などが生まれ語り継がれてきたのです。今回私は「いんねえのじゅえむどん話から、からすの田うない」と大男の「いでらぼう」を語らせてもらいました。小さなお子さんから年配の方まで大勢の方が真剣に聞いて下さり、市川にもこんな話があるのだと、感じていただけたのではないかと思います。

現代人は日々「こなす」ことでエネルギーをそそいでいますが、ふと我に返り、いにしえの物語に身をゆだねる時間を大切にできたらいと民話を語りながら感じていきます。



## 第22回芸術文化集会について

市川交響楽団協会  
実行委員長 時田雄

平成27年度市川市文化祭参加の「第22回芸術文化集会・天空の文化祭」は平成28年2月8日から2月12日まで開催されました。この催しは市川市芸術文化団体協議会の加盟団体が合同で行う年一回の行事です。今回の文化集会は能村会長のアイデアによりこれまで発表会場にしてきた市川市文化会館を離れJR市川駅南口にそびえるアイリンクタウン45階の展望施設を会場とし、開催期間も5日間の連続開催となりました。

この展望施設は市川市が運営しており、西はスカイツリーの向こうに見える富士山や秩父の山々、南は羽田空港の滑走路、東京湾、デイズニールゾート、千葉のコンビナート、西は筑波山と素晴らしい景色が望めます。

加盟団体の皆さんに展示、公演ともこの新しい空間を使った企画をお願いします。5日間の連続展示とランチタイムコンサート、夕暮れコンサート、夜景コンサートを時間を区切って公演を行いました。初挑戦の会場でしたがどの団体も指向を凝らした発表となり、多くの皆さんに喜んで頂けた事と思います。

通常の活動ではホールや展示室などで公演や作品展示を行いお客様に来ていただく方式ですが、今回のように人が集まる場所で開催する事で私たち活動をより広める意味で効果があったと思います。次回の「第23回芸術文化集会」も同じアイリンクタウン45階の展望施設で平成

29年2月16日(木)から2月20日(月)まで開催の予定です。夕暮れに浮かぶ富士山のシルエットを背景にどのような新しい企画をご提供できるか楽しみにお待ちしております。



## 市川オペラ振興会

理事長 木村珠美

市川オペラ振興会は、市川市に上質なオペラをお届けできたなら、という思いで立ち上げまして、今年36周年を迎えました。また、一昨年公演いたしましたチレア作曲、オペラ「アドリアーナ・ルクヴルール」は、1992年に、日本人初演を果たし、新聞等で素晴らしいご批評を賜りました。そして、2014年に、再演され、公演は大変好評をいただきました。今回は、その折の写真を掲載させていただきます。

また、昨年は、ブッチーニ作曲の第1作品である、「妖精ウィツリ」を再演いたしました。そして、ブッチーニ第2作



品オペラ「エドガール」は、アジア初演となり、ブッチーニ作曲オペラ「つばめ」は、日本初演となっております。市川オペラ振興会は、36年前にヴェルディ作曲オペラ「椿姫」を初めて上演致しましてから、ブッチーニ作曲「蝶々夫人」「ジャンニスキッキ」、イタリヤより、極上のテノール、アントニオ・デ・パルマ氏を招聘して、レオンカヴァッロ作曲「道化師」等々、イタリヤオペラを中心に公演を重ねておりますが、市川交響楽団と共演によりますオペラ、モーツァルト作曲「魔笛」、日本のオペラ青嶋広志作曲「黒蜥蜴」他等々、上演を重ね好評を博しております。

今年、チェコの代表的な作曲家である、ドヴォルザーク作曲オペラ「ルサルカ」が、日本人による初演となり、大変好評の公演となりました。

# 伝統と新こね

## 市川市俳句協会

能村 研三

市川市俳句協会は、平成28年10月2日に第68回市民俳句大会を行います。この記事が「芸文いちかわ」に掲載される頃は、市民からの作品が続々と投句されて事務局は大会の準備に追われていることでしょう。

五・七・五という限られた中での表現、それは驚きであり感動でありつまるところは自己表現であります。

芭蕉は「俳句は五歳の童にさせよ」といつています。長く俳句に親しんだ方も最近始めたばかりの方も、結社や職場や学校、年齢を超え、同じ土俵にたつてその作品を評価しあい、勉強するなかで、また自らの俳句作りに勤しむ機会が市民俳句大会なのです。

俳句大会の選者は、市内在住の16結社からの30名によって構成されています。大会には毎回著名な俳人をお招きして記念講演を行います。27年度は「街」主宰の遠藤若狭男先生の「名前より俳句」というお話を伺いました。

事前投句520句、当日句が50句。参加者の互選により市長賞は

「噴水は叫びのかたち爆心地」江澤弘子  
が選ばれました。

初めての試みであった「当日句」には  
「食増して五欲健在秋闌くる」須山登

こんな元気な句もありました。ご高齢でもまだまだお元気ですね。

当日の優秀作品を集めて、例年、アイリンク展示施設で「新春展」を、短歌協会、川柳協会、市川俳見クラブと共催しています。  
市川は俳句の盛んな街です。来年は俳句の全国組織である「俳人協会」の「花と緑の吟行会」が、市川を舞台として行われます。



## 事務局より報告とお知らせ

◇平成28年度総会開催  
平成28年4月13日(水)

### ◇会長挨拶

昨年は新体制で始動し、試行錯誤の一年でしたが、この経験を活かしつつ本年度は更に充実した活動をして行きたい。加盟団体の勧誘も勧めている。市民会館が3月オープン予定、芸文協として出来る事があれば協力して行きたい。

◇議事 27年度事業報告 承認  
27年度会計報告 承認  
監査報告 承認  
28年度事業計画案 承認  
28年度会計予算案 承認

◇「芸文いちかわ」 第17号 7月発行  
第18号 秋発行

### ◇今後の予定

理事会	7月13日、9月7日、10月12日、 12月14日、29年1月21日、3月9日
新年懇親会	29年1月21日
バス研修旅行	28年10月
文化集会 「天空の文化祭」	29年2月16日より20日まで アイリンクタワー45階展望室於

## 事務局より

27年4月、役員改選の折、突如事務局長という重責のあるポストが回って参りました。加盟団体の一理事として、当協会に参加させて頂いておりましたが、事務経験もない私に何が出来たのか、はたして事務局長が務まるのか、とても不安でした。お引き受けしたからには努力して責務を全うしなければなりません。手探りながら、先輩の方々、会員の皆様にご指導ご協力を頂きながら無事に1年が過ぎました。

2月には、文化集会「天空の文化祭」を新企画にて開催し、良い経験をさせて頂きました。今年度は更に、会員相互の連絡を密に、市川市民の芸術文化活動を盛り上げて行けるよう、微力ではありますが、お手伝いをさせて頂きたいと思っております。

## 市川市芸術文化団体協議会 加盟団体

市川市花道協会 市川交響楽団協会  
市川民話の会 市川市合唱連盟  
市川市洋舞踊協会 市川オペラ振興会  
市川市手工芸連盟 市川市写真連盟  
あずさ企画 市川市俳句協会

### 編集・発行

市川市芸術文化団体協議会

### 事務局

〒272-0826 市川市真間2-1-6-101 大川尚代方

TEL 047-322-2332

HP <http://www.geibun.org>